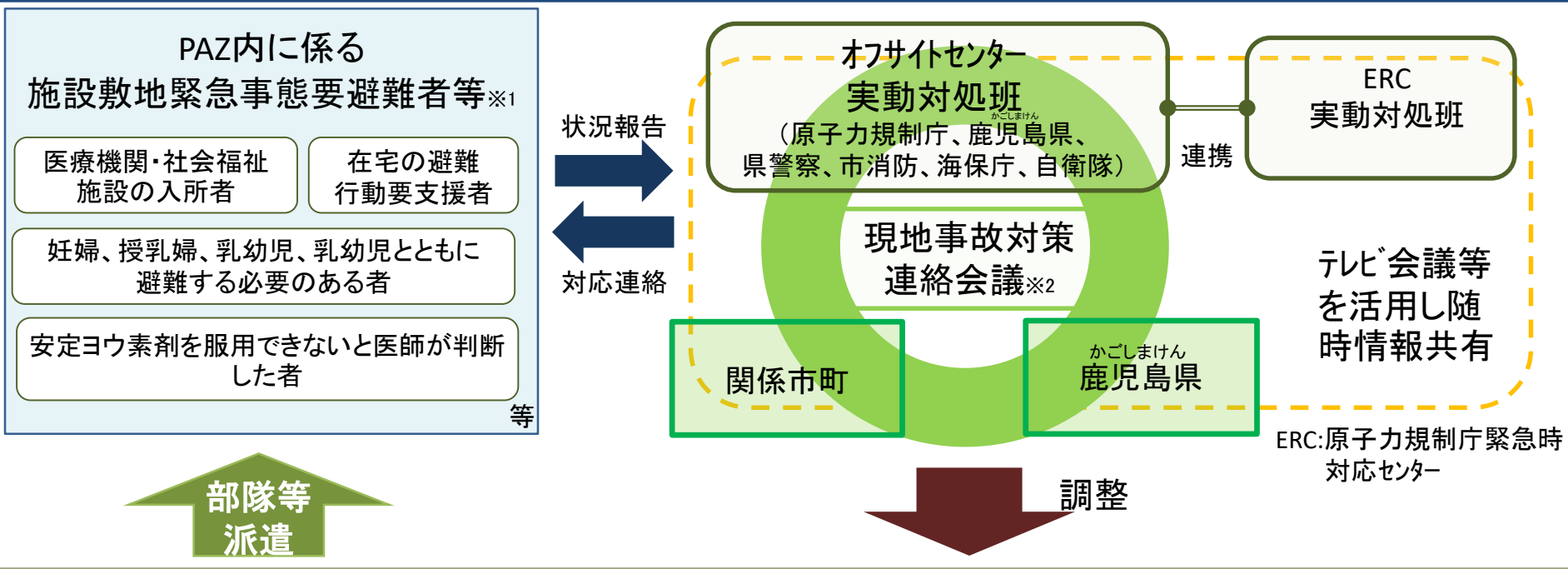


# 施設敷地緊急事態からの現地実動組織の体制

➤ 施設敷地緊急事態に至った場合に施設敷地緊急事態要避難者の避難が開始されることから、地方公共団体で避難手段の確保が困難になった場合に備え、現地事故対策連絡会議を開催するとともに、オフサイトセンター実動対処班を設置（対象となる要員は、必要に応じ施設敷地緊急事態に至る前から体制立ち上げ）。施設敷地緊急事態以降、原子力緊急事態の解除までの間、継続して対応を実施。

※ オフサイトセンター実動対処班要員参集前に各種要請があった場合は、ERC実動対処班が連絡・調整を実施  
 → 不測の事態における鹿児島県、関係市町からの各種支援の要請に対し、実動組織（警察、消防、海保庁、自衛隊）が連携のうえ、迅速な対応体制を構築



＜警察＞  
かごしまけん  
鹿児島県警察  
九州管区警察局 等

＜消防＞  
さつま せんだいし  
薩摩川内市消防局  
その他関係市町管轄消防機関

＜海保庁＞  
くしきの  
串木野海上保安部  
第十管区海上保安本部

＜自衛隊＞  
陸上自衛隊西部方面総監部  
海上自衛隊佐世保地方総監部  
航空自衛隊航空総隊司令部 等

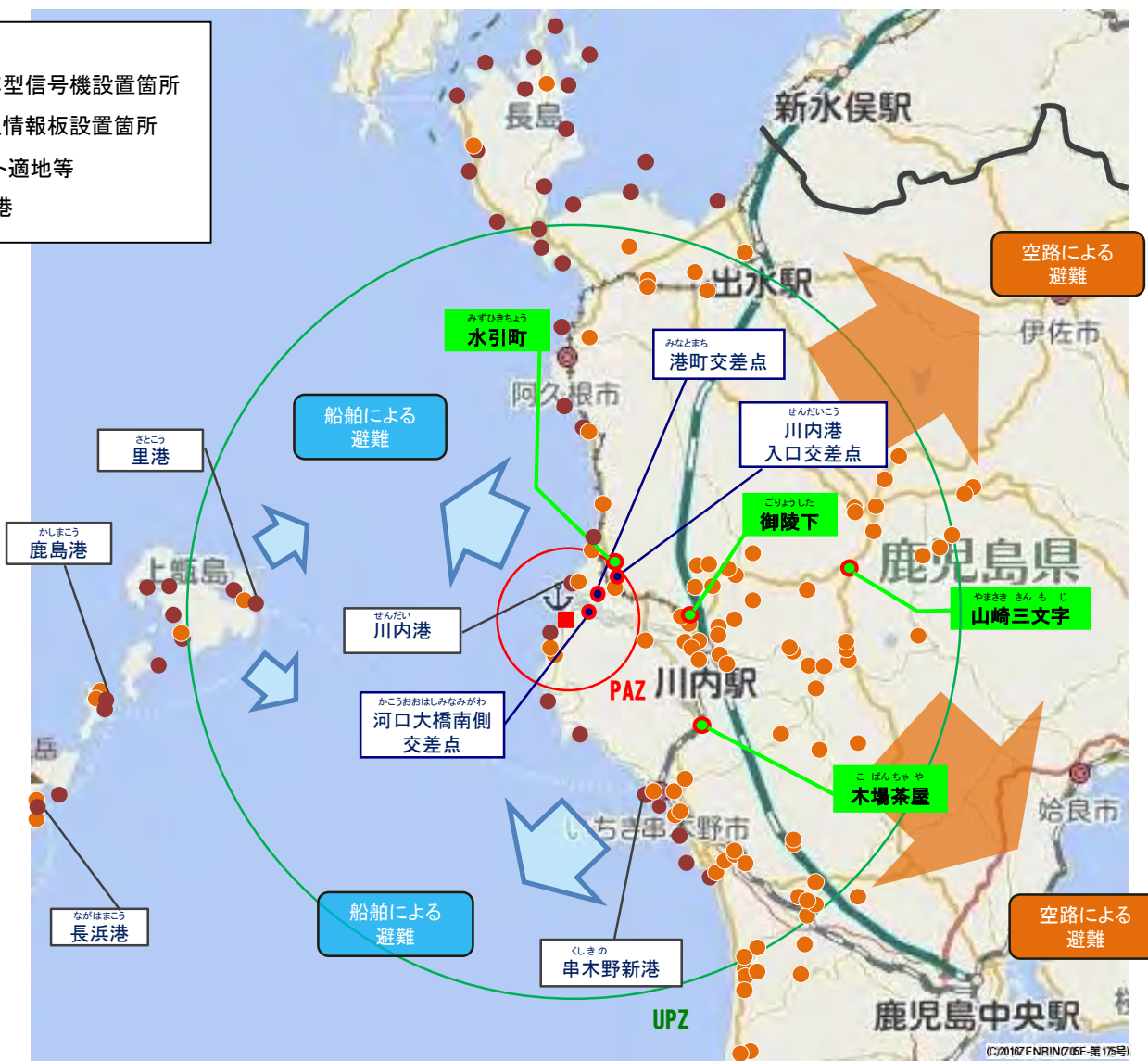
※1 施設敷地緊急事態での避難対象者を示したものの。全面緊急事態では、PAZ内の一般住民等、OILによる防護措置実施時にはUPZ内のうち対象地域の住民等が対象となる。

※2 全面緊急事態以降は、原子力災害合同対策協議会で情報収集

# 自然災害等により道路等が通行不能になった場合の対応

➤ 自然災害等により、車両による避難ができない場合は、鹿児島県及び関係市町からの要請により、実動組織（警察、消防、海保庁、自衛隊）による各種支援を必要に応じて実施。

- 凡例
- : 突発対応型信号機設置箇所
  - : 道路交通情報板設置箇所
  - : ヘリポート適地等
  - : 港湾・漁港



避難先又は陸路で避難可能な場所までヘリコプターにより避難

自治体等と連携の上、通行不能となった道路への他の車両の流入防止

# 自然災害などの複合災害で想定される実動組織の活動例

- 鹿児島県かごしまけんと関係市町との調整を踏まえ、必要に応じ広域応援を実施。

## 警察組織

- ✓ 現地派遣要員の輸送車両の先導
- ✓ 避難住民の誘導・交通規制
- ✓ 避難指示の伝達
- ✓ 避難指示区域への立ち入り制限等



## 消防組織

- ✓ 避難行動要支援者の搬送の支援
- ✓ 傷病者の搬送
- ✓ 避難指示の伝達



## 海上保安庁

- ✓ 巡視船艇による住民避難の支援
- ✓ 緊急時モニタリング支援
- ✓ 船舶等への避難指示の伝達
- ✓ 海上における警戒活動



## 防衛省

- ✓ 緊急時モニタリング支援
- ✓ 被害状況の把握
- ✓ 避難の援助
- ✓ 人員及び物資の緊急輸送
- ✓ 緊急時の避難退域時検査及び簡易除染
- ✓ 人命救助のための通行不能道路の啓開作業

